



## 平成7年第130回秋季講演大会シンポジウム開催案内

### 計測・制御・システム工学部会

# 製鉄所CIM化のためのスケジューリング技術

現在、製造現場では多様化する顧客ニーズへの対応と同時に、コストダウンと納期達成が求められています。このためには、フレキシブルな生産を可能にする製鉄所のCIM化の推進が今後の重要課題です。スケジューリング技術はCIM化の基盤技術であり、近年各種の方法が考案、実施されつつあります。計測・制御・システム工学部会では、第130回秋季講演大会において、スケジューリング技術に関するシンポジウムを開催し、専門家による方法論の解説、開発事例の紹介と現場ニーズに応えるための技術課題の討論を行います。多くの方のご参加をお待ちいたします。

1. 日 時：平成7年11月4日(土)予定（変更になる場合があります）
2. 場 所：大阪大学吹田キャンパス（第130回秋季講演大会会場）
3. 内 容：

座長：荒木光彦（京大） 副座長：小西正躬（神鋼）

#### 基調講演（1講演30分・質疑5分）

- |             |                        |       |      |
|-------------|------------------------|-------|------|
| 13：00～13：35 | スケジューリングの基礎            | 阪大基礎工 | 田村担之 |
| 13：35～14：10 | メタ戦略によるスケジューリング        | 京大工   | 玉置 久 |
| 14：10～14：45 | スケジューリング用ソフトウェアの現状と問題点 | 構造工学研 | 中野一夫 |

#### 一般講演

- |             |                        |           |      |
|-------------|------------------------|-----------|------|
| 15：00～15：15 | 原料部門における物流スケジューリングシステム | 川鉄情報システム  | 福村 聡 |
| 15：15～15：30 | 加熱炉挿入スケジューリング          | 新日鐵エレ研    | 藤井 章 |
| 15：30～15：45 | 製鋼－熱延－環操業スケジューリングシステム  | 住金システムエンジ | 中川義之 |
| 15：45～16：00 | コンテナヤードの物流スケジューリング     | NKK基盤研    | 川合信行 |
| 16：00～16：15 | 出荷バースの操業スケジューリング       | 神鋼プロ研     | 北村 章 |
| 16：20～17：00 | 質疑・スケジューリングに関する討論      |           |      |

#### 4. 問合せ先：

(株)日本鉄鋼協会 学会部門事務局 藤原裕美子

〒100 東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階 TEL(03)3279-6021 FAX(03)3245-1355

### 国内会員の皆様へ

#### 一配布定期刊行物変更のお知らせ一

平成8年1月より、国内会員各位には会報「ふえらむ」が送付され、論文集「鉄と鋼」「ISIJ International」は追加料金でご購読いただくこととなります。購読希望に関する調査票を本年7月に発送する予定ですので、もれなくご返送下さるようお願いいたします。

### (財)天田金属加工機械技術振興財団 金属等の塑性加工に関する研究開発助成公募

#### 1. 助成対象領域：

金属等の塑性加工に必要な技術に関する研究助成

- 1) 加工方法及び加工プロセス, 2) 加工機械, 型工具, 3) 計測制御, 4) 材料プロセス,  
5) 理論及びシミュレーション

#### 2. 対象者：

上記対象領域に携わり、大学、高等専門学校、国公立及びそれに準ずる研究機関に所属する研究者個人または学協会に所属する研究団体。

#### 3. 種類, 件数, 金額：

研究開発助成 30件 300万円まで

奨励研究助成 10件 100万円まで

#### 4. 申込期限：平成7年7月31日

#### 5. 問合せ先：財団法人天田金属加工機械技術振興財団

〒259-11 神奈川県伊勢原市石田350番地 TEL(0463)96-3580 FAX(0463)96-3579